

大正区って
こんな島です

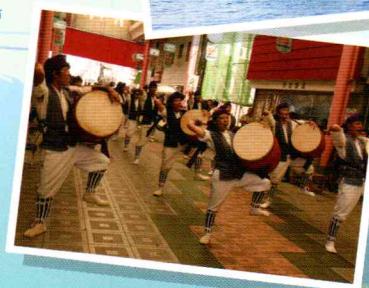
純愛

大正

らんど



連続テレビ小説「純と愛」の舞台地



新神戸

三ノ宮

尼崎

元町

二宮

十三

淀川

河原町

京都

出町柳

門真南

奈良

伊勢志摩

なかもず

JR・地下鉄 大正駅へは

- 大阪からJR大阪環状線で11分
- 天王寺からJR大阪環状線で8分
- ユニバーサルシティからJRで13分(西九条乗換)
- 心斎橋から地下鉄長堀鶴見緑地線で6分

大阪市大正区



モアイ像の顔のような、
ひょうたん島のような…
海と川に囲まれた

大正区のカタチ。

大正区は昭和7年(1932)発足。水運豊かなこの町は大阪の大工業都市への発展に大きな役割を果たしました。そして沖縄の人たちが大正区に移住を始めてからもう100年が経ち、区内の各地で「沖縄」を感じることができます。

見てよし食べてよし歩いてよし船に揺られてよしの大正区へは、この大正愛らんどMAPをお出かけください。

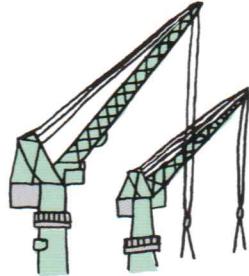
サイクリング&渡し船コース

約12km
約3時間半



巨大建造物ウォッチングを中心に、海と川に囲まれた大正区のバラエティ豊かな表情がフルコースで楽しめます。

- ① 大正駅(観光案内所)
- ▼ 市バス
- ④ 「大正区役所前」バス停留所
(コミュニティセンターで自転車レンタル)
- ▼ 小林産土神社
- ▼ はしけさん橋 (眺望抜群)
- 北村南公園 (眺望抜群)
- 千歳渡船場(北側)
▼ 渡し船 (眺望抜群)
- 千歳渡船場(南側)
- 鶴町商店街
- IKEA前
- 千本松大橋前
- ⑥ 平尾亥開公園と
大阪俘虜収容所跡地
- 落合上渡船場
- ④ 大正区役所前
(コミュニティセンターで自転車返却)
- ⑤ 千島公園(昭和山) (眺望抜群)



② 大正橋

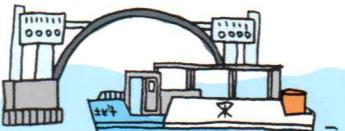
大正4年(1915)に竣工した区名の由来の橋。「大正橋区」か「大正区」かで意見が分かれたが、後に橋の東詰には嘉永7年(1854)の大地震によって津波が起き、多くの人命が失われた教訓を後世に残すべく「大地震両川口津波碑」がある。

都心からむっちゃ近い
異文化って感じ



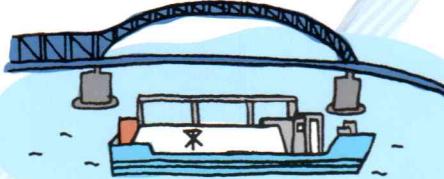
③ JRガード下や 尻無川左岸沿いのお店

JRガード下や駅周辺の路地には、沖縄料理店や焼肉屋などバラエティ豊かな飲食店が並ぶ。尻無川沿いにある[SUNSET2117]などの飲食店は、夕方からオープンし、店の桟橋から直接クルーズが楽しめる日もある。



④ 甚兵衛渡船場

大正区泉尾一港区福崎を結ぶ大阪市で一番利用が多い渡船。日中15分毎に航行している。



⑤ 千歳渡船場

大正区北恩加島一鶴町を結ぶ。日中20分毎の航行で大正区7渡船のうち最長371mの旅。この真上を高さ28m・橋長365mの千歳橋がまたぐ。「純と愛」に出てくる渡船のシーンは、ここで撮影された。



千歳橋を歩いて渡っても
下を渡し船で渡っても楽しいよ

⑨ 日本GM工場跡

何と昭和2年(1927)にはこの地でシボレーが製造されていた。年間1万台以上を生産した工場は、昭和16年(1941)第二次世界大戦のため操業を中止した。



500m

サイクリング&渡し船コース

⑩ 大正内港

昭和9年(1934)の室戸台風で区内全域が冠水したことから、大阪市は河川を拡張して内港を作り、その土砂で区内の盛り土を行った。昭和50年(1975)に完成し、鉄鋼や雑貨などの国内貿易基地に。

⑪ 大正内港

昭和9年(1934)の室戸台風で区内全域が冠水したことから、大阪市は河川を拡張して内港を作り、その土砂で区内の盛り土を行った。昭和50年(1975)に完成し、鉄鋼や雑貨などの国内貿易基地に。

⑫ 木津川渡船場

大正区船町一鶴町を結ぶ。日中15分毎の航行。

⑬ 木津川渡船場

大正区船町一住之江区平林北を結ぶ。日中45分毎の航行。三重ループの新木津川大橋はこの真上をまたぐ。

木津川渡船場

新木津川大橋



① おきナニワん 大正区観光案内所

大正区の観光案内キーステーション。地元の見どころ、食べどころや「あの場所はどこ?」についてもしっかり教えてくれる。沖縄物産や大正区地場の名品も販売。平成25年6月末まで開館(無休)。10:00~18:00
☎06-6575-9173

④ 大正区 コミュニティセンター

この2階でレンタサイクルが1日300円(保証金700円)で借りられる。台数に限りがあるのでまずは電話で予約を。利用時間は9:30AM~5:00PM 年末年始休止 ☎06-6553-5511

⑤ 昭和山

大阪万博(1970)を控えて急速に進んだ地下鉄建設工事の残土170万m³を使って造られた標高33mの山。大阪市内では第2位の高峰(!)であのハルカスや六甲、葛城、金剛山も見える。

⑥ 落合上渡船場

大正区千島一西成区北津守を結ぶ。日中15分毎の航行。

⑦ 千本松渡船場

大正区南恩加島一西成区南津守を結ぶ。日中15分毎の航行。この真上を「めがね橋」の愛称で呼ばれる道路長1,228mの千本松大橋がまたぐ。「千本松」の名は、江戸時代に多くの松が植えられていたことに由来している。

⑧ 中山製鋼所

見覚えある? そうです。日米合作映画、リドリー・スクットの『ブラック・レイン』で松田優作が隠れていたのがここ。行き詰まる銃撃戦とチエイスが繰り広げられた。平成14年(2002)に高炉を休止。

水辺でほっこり 下町コース

約5km

約2時間



防潮鐵扉が數多くあり、最近はお店も増えた尻無川左岸。ここから下町風情の商店街を通って、近世~近代の大正の歴史に触れるコースです。

① 大正駅(観光案内所)

② 大正橋と尻無川河川広場 眺望抜群

③ 尻無川左岸沿いのお店(夜営業)

尻無川左岸鉄扉群

三泉商店街(詳細図参照)

泉尾商店街(詳細図参照)

下八阪神社

三軒家公園(近代紡績工業発祥の地)

上八坂神社(中村勘助の碑)

① 大正駅(観光案内所)

⑥ 大阪俘虜収容所跡地

第一次世界大戦(1914~18)中にドイツ兵などの捕虜を収容していた施設。朝夕2回の点呼を受ける以外の労働は特になく、音楽や演劇、サッカーなども楽しめていたという。大正6年(1917)に閉鎖。現在は工場になっている。

沖縄の風 体感コース



約2km 1時間半

平尾本通商店街は沖縄文化を満喫できるエリア。少し足を伸ばせば大正区の意外な歴史にも出会えます。「純と愛」の撮影が行われた商店街はここ。

① 大正駅(観光案内所)

市バス

「平尾」バス停留所

平尾本通商店街(詳細図参照)

「平尾」バス停留所

市バス

① 大正駅

JRガード下散策

(大正駅の東西に飲食店が集中)

三泉

沖縄を持ち帰る。



沢志商店

お土産を買うなら、昭和46年から商店街に店をかまえる沖縄物産専門店で。店内には沖縄ポークの色鮮やかな缶詰や、袋詰めされた黒糖やパイント糖を始めとする、沖縄色豊かな食材がずらり。乾物だけでなく产地直送の新鮮なゴーヤ、手作りの惣菜も並べられ、地元の人々が朝から足繁く通うのも納得。沖縄のおかさんの味、ドーナツのようなサーターアンダギーは1個50円から、お気軽に何個でも。10:00~19:00 月曜定休 ☎06-6552-6121

沖縄を体験する。



店長の仲田順市さんを囲み、笑顔のお弟子さんたち。枚方市と川西市から、大正区に通っている。

仲順

本場沖縄料理と民謡ライブが一度に楽しめる居酒屋。一見さん大歓迎のアットホームさが売りだ。民謡歌手であり、三線師範でもある店長に惚れ込み、大正区外から弟子になる人も多数。絶品のむろくの天ぷらにゴーヤーチャンブルー、もろみ味噌ではなく油みそをキュウリについて、泡盛を嗜みながら沖縄のリズムに乗っかりたい。ライブの詳細など、まずは問い合わせを。17:00~23:00 水曜・第4火曜定休 ☎06-6554-4652

三軒家地区と泉尾地区にまたがっていたことから、明治44年(1911)に誕生した商店街付近は「三泉」と呼ばれ、人々に親しまれてきました。その中心である三泉商店街の歴史は区内の商店街で一番古く、前身である「三泉共同市場」は、明治末の西日本で特に有名な問屋市場でした。東京タワーと同じ333mのアーケードには、今も老舗名店が多く軒を連ねています。

大正区ビギナー、必見。

三泉商店街の名物は、各店が自信を持ってオススメしてくれる「逸品」。その顔ぶれは、[大六堂]の栗を使用した和菓子「ばんばん船」、[A&A]のカレーパンなど。共通するのは、そのお得感。たとえば、写真の「ふな定」の「う巻き」はひと切れ130円から注文OK。少食のお年寄りへの思いやりと、あれもこれもと欲張りたいご新規さんへのサービス精神なのだ。区外の人には嬉しいお店めぐり、「逸品ツアー」も定期的に開催されている。問い合わせは三泉商店街振興組合まで。

☎06-6551-2628



国産うなぎのほか、中央卸売市場の食材で作られた日替わりお惣菜は、地元の奥様たちの楽しみ。



八島模型店

店内に所狭しと並んでいるのは、マニアは垂涎必至の宇宙戦艦ヤマトや戦車のプラモデル、そして遠方のお客さんも足を運ぶ絶版のキット。特に、ミニ四駆の改造パーツの品揃えは群を抜いていて、店横で毎月開催されるミニ四駆大会はいつも盛況。世代を超えて一緒に遊べる、商店街らしい大人と子どもの社交場だ。

9:00~19:00 不定休 ☎06-6551-8984

いづお 泉尾

三泉商店街

ローソン

大正湯

ピコ泉尾

スーパーはやし

寝具・肌着 ウイ

泉尾商店街

●餃子の王将

国道43号線

●制服の店マサキヤ

●理容若葉

●むらせ陶器

泉尾地域は、元禄15年(1702)に北村六右衛門宗俊によって泉尾新田として開拓され、出身地の和泉国堺尾村(現・堺市西区津久野町)の「泉」と「尾」をとって「泉尾」となりました。大阪の昔ながらの空気がただよう泉尾商店街では、自転車に乗った地元の人々が毎日たくさん行き来しています。アーケードの真ん中には公設市場が広がり、泉尾地区の生活拠点の役割を果たしています。

ほっとできる、人情のまち。

どこか懐かしさを覚える泉尾商店街には、昔と変わらず、地元民に愛された床屋に制服店、レトロな喫茶店と多くの小売店が立ち並び、誰でも入り込める気安さがある。そんな空気を守りながら、商店街を盛り上げようと頑張る若手がいる。様々な寝具を取り扱う「ウイ」の四代目、制服店「マサキヤ」の二代目を始め、「近隣学校の生徒に、小売業体験してもらつてはどうか」「お年寄りが立ち寄りやすい商店街にするには」など、お客様への熱い思いを胸に、今日も元気に営業中!



大正湯

見た目は、情緒あふれる下町のお風呂屋さん。創業した昭和26年から変わらず、泉尾という町に溶け込んでいる。中に入れば大きくて古い柱時計、中庭の池で泳ぐ鯉、浴室の石畳にモザイクタイル、と期待を裏切ることのない昭和ノスタルジーの世界。町歩きに疲れたら、ここで体を休めていくのもアリです。入浴料410円。15:00~24:00(日曜 6:00~)月曜定休 ☎06-6552-4819



平尾



平尾地域は、明和8年(1771)に平尾と衛門によって平尾新田として開拓されたことからその名前が付きました。大正区の歴史的な経緯から沖縄出身の方が多いところで、なかでも平尾地区は多くのウチナンチューが集まって暮らしています。平尾本通商店街は沖縄商品を取り扱うお店が多いのですが、大阪の下町の雰囲気も漂い、情緒あふれ、大正区南部の庶民の台所とも言われています。

「おきナニワん」とは?

沖縄本土復帰40周年と大正区制80周年が重なった2012年。さらには、同年秋より放送開始の連続テレビ小説「純と愛」の舞台地として、沖縄県宮古島と大阪市大正区が選ばされました。これをきっかけに生まれたのが「おきなわ」+「大阪(ナニワ)」=「おきナニワん Project」。大正区では沖縄と大阪、それぞれの名物を組み合わせた「ええとこどり」な新感覚フードも、たくさんスタンバイしています。

まだあります

「おきナニワん」フード

中川青果店の「おきナニワん」健康ドリンク(ゴーヤー+ミックスジュース)
味処やまととの「おきナニワん」紅芋まんじゅう(紅芋+三つ葉+あんかけ)
御菓子司 平和堂の「おきナニワん」和風パイ(紅芋+自家製餡)
トロピカルダンディの「おきナニワん」ピザ(油みそ+大阪ねぎ)
「おきナニワん」パスタ(油みそ+大阪ねぎ)
ホームページでもたくさんご紹介!

<http://www.city.osaka.lg.jp/taisho/page/0000175765.html>

おきナニワんを味わう。

五色屋の「おきナニワん」ロール 110円

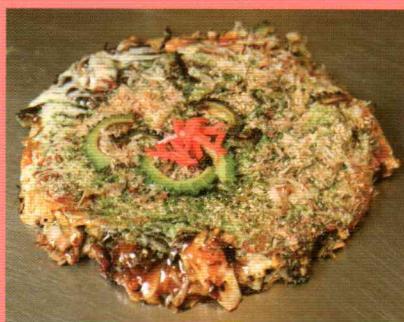
沖縄特産紅芋あんを、大阪ではお土産として喜ばれるロールケーキに巻き込んだ下町和菓子屋のおやつ。お手軽で腹持ちもよいので、まち歩きのお供に最適。シーカワーサージュースを冷やし飴風にアレンジした「おきナニワん」ドリンクも一緒にどうぞ。夏はさりとて甘み、冬はしょうがを入れて体の芯からポカポカ。9:00~19:30 不定休 ☎06-6551-5184



笑顔が素敵な二代目・上田佳宏さんは、なんとボディビルダーの顔も。

みるくの「おきナニワん」焼き 900円

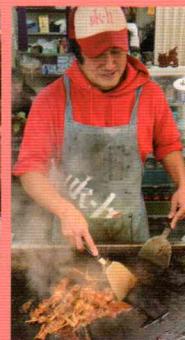
手際のいいおかさんが目の前の鉄板で焼いてくれるお好み焼き店からは、生地にもトッピングにもゴーヤーを使用したお好み焼きが登場。ちょっと焦げた甘めのソースも香ばしく、もちもちした生地に混ぜ込まれたほろ苦いゴーヤーがいいアクセントに。にくにく醤油がたまらない新メニュー、きのこ焼きそばもおすすめだ。11:30~22:00(休憩14:00~17:00、日曜~21:30)月曜定休 ☎06-6551-7716



宮城ホルモン店の「おきナニワん」ホルモン焼き 60円~



女性でも入りやすい、明るい雰囲気。「コラーゲンたっぷりのアブラミがおすすめです」と店長。



沖縄ではメジャーな豚のホルモンを甘辛いタレで絡めて焼き、大阪串焼き風に食べやすくした、これぞまさに大正区が誇るB級グルメ。小腹が空いたらふらっと立ち寄り、アブラミやキモなど好きな部位を好きなだけオリオンビールとつまむのが地元流。やみつきになって、10本20本まとめ買える常連客も数知れず。11:00~19:00 月曜・第3日曜定休 ☎06-6551-9978



